

テレワーク導入企業へのヒアリング調査 導入事例 9

北海道ベンチャーキャピタル株式会社

投資運用業・経営コンサルタント業

所在地 ● 札幌市北区北7条西2丁目20番地 東京建物札幌ビル2階
電話番号 ● 011-738-7380
代表者 ● 代表取締役社長 三浦 淳一
従業員数 ● 4人
資本金 ● 8,800万円
事業内容 ● 未公開企業向け投資事業組合の企画・運営事業、
経営コンサルティング事業
URL ● <http://www.hokkaido-vc.com>



テレワーカー コンサルティング部
熊野 彩さん

自由な働き方で、弁理士業と兼業

北海道ベンチャーキャピタル株式会社でシニアコンサルタントとして働く熊野彩さんは、弁理士として「熊野アヤ特許事務所」代表という別の顔を持っています。熊野さんは入社と同じ時期に弁理士事務所を開業し、職場からの多大な理解と応援を受けて会社員と弁理士業の兼業の道を歩んできました。「今は会社のためにも、弁理士としてしっかり独立することが最も大切」と話す熊野さんは、会社と弁理士事務所の仕事に同程度の時間を割いて働いています。

熊野さんは小学生のお子さんを持つ母親でもあり、仕事の内容やお子さんの体調に合わせて、その日の在宅・出勤を選び、

出退勤の時間を調整しています。また、取引先に自宅から直接向かったり帰宅したりすることも多いと言います。

社内で弁理士事務所の仕事をするのも自由だと言い、自宅を事務所にして働く熊野さんは、顧客との打ち合わせに会社の会議室を使います。「自宅で打ち合わせするのは難しく、会社は利便性の良い場所でもあり、助かります」と話します。自由度の高い働き方についても「すごく働きやすい環境だと思います」と話し、満足して働いていることがうかがえます。



代表取締役社長
三浦 淳一さん

社員・パートナーの専門性をいかにせる「プロ集団」に

企業の新規事業や株式上場を投資とコンサルティングで支援する北海道ベンチャーキャピタル株式会社の代表取締役社長、三浦淳一さんは「才能のある人を囲い込むのではなく、働きやすい形で働いてほしい」と考えています。設立当初からフリーランスのコンサルタントをパートナーに事業展開してきた経緯があり、「柔軟な働き方をこちらが許容できれば、専門性を発揮してもらえる優秀な人材は多く潜在している」と考え、「社員・パートナーが自分の専門分野でしっかりと独立しているほうが会社の信頼性も上がり、双方にとってメリットになるのです」と話します。

「目指すのは専門を持った人たちがゆるくつながっている『プロ集団』」と三浦さんが話す通り、弁護士、弁理士、会計士などの

有資格者や、海外ビジネスなどの強みを持った社員・パートナーとともに事業を行い、社員は必ずしもオフィスにいる必要はなく専門規則もありません。

三浦さんご自身も外出先で仕事をする事が多いと言います。在宅やモバイルで仕事をするための携帯電話、PC、ポケットWi-Fiを社員にも用意しました。ファイルはクラウドサーバーで共有しています。

兼業する熊野さんの働き方については「時間で区切って働いてもらうことは難しいです。会社の取引先からの連絡を待つ間に、弁理士の仕事をする事はむしろ効率的だと思います」と歓迎します。今後は、経理業務を在宅など外部の人材に委託することを検討していると言います。